



# 株式会社DDホールディングス

2019年2月期第1四半期  
決算補足説明資料

2018年7月18日

証券コード：3073



## 連結業績

---

1

### 中間期業績予想を上方修正、通期については据置き

→1Qの業績が順調に推移したこと、投資有価証券の一部を売却したことによる修正

2

### アミューズメント事業が堅調に推移し、国内既存店100.4%

→飲食：98.6%、アミューズメント：104.9%（18カ月連続昨対比超）

3

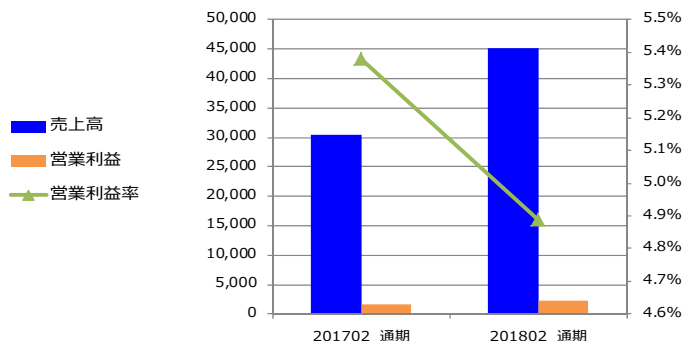
### 前期2Qより連結対象になった2社が売上高増に大きく貢献

→対象となる(株)ゼットンと(株)商業藝術により4,483百万円増加

# 連結業績



通期

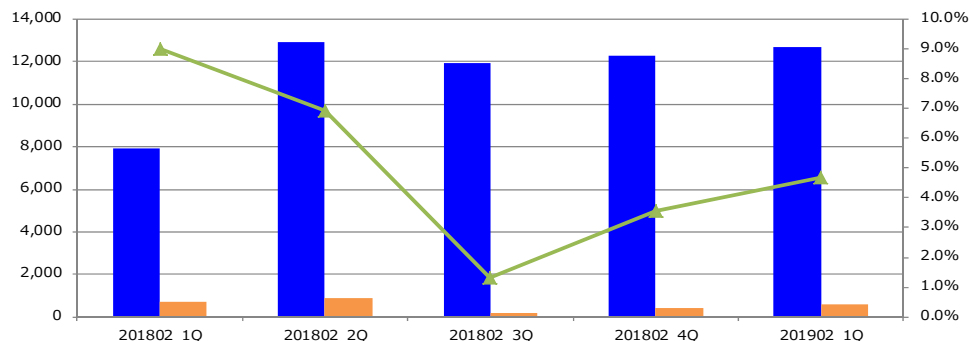


	2017年 2月期 (通期)	2018年 2月期 (通期)
--	-------------------	-------------------

売上高	30,509	45,077
売上原価	6,408	10,570
売上総利益	24,101	34,506
販売費及び一般管理費	22,460	32,301
営業利益	1,641	2,204
経常利益	1,435	2,223
親会社に帰属する四半期/当期純利益	648	1,010
EBITDA	2,766	3,629
(ご参考) のれん償却費控除前営業利益	1,738	2,355

四半期会計期間

(単位：百万円)



	2018年2月期				2019年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	7,901	12,950	11,912	12,313	12,682
営業利益	711	896	158	439	595
経常利益	704	908	175	434	558
親会社に帰属する四半期/当期純利益	444	645	7	▲ 86	339
EBITDA	938	1,264	565	862	961
(ご参考) のれん償却費控除前営業利益	717	943	206	487	644

※注 EBITDA=営業利益+減価償却費+リース資産償却費+ソフトウェア償却費+権利金償却+のれん償却費+繰延資産償却費

# セグメント別業績



(単位：百万円)

		通期	
		2017年 2月期 (通期)	2018年 2月期 (通期)
国内飲食	売上高	21,064	34,846
	営業利益	2,406	3,656
	営業利益率	11.4%	10.5%
海外飲食	売上高	1,416	1,511
	営業利益	▲ 181	▲ 96
	営業利益率	-	-
アミューズメント	売上高	8,029	8,719
	営業利益	1,118	1,538
	営業利益率	13.9%	17.6%
全社	売上高	30,509	45,077
	営業利益	1,641	2,204
	営業利益率	5.4%	4.9%

四半期会計期間					2019年2月期 1Q
1Q	2018年2月期			4Q	
	2Q	3Q	4Q		
5,423	10,318	9,439	9,664	<b>10,038</b>	
761	1,301	710	882	<b>863</b>	
14.0%	12.6%	7.5%	9.1%	<b>8.6%</b>	
371	396	369	373	<b>350</b>	
▲ 1	▲ 29	▲ 15	▲ 51	<b>▲ 14</b>	
-	-	-	-	-	
2,105	2,236	2,102	2,274	<b>2,293</b>	
399	466	268	405	<b>419</b>	
19.0%	20.8%	12.7%	17.8%	<b>18.3%</b>	
7,901	12,950	11,912	12,313	<b>12,682</b>	
711	896	158	439	<b>595</b>	
9.0%	6.9%	1.3%	3.6%	<b>4.7%</b>	

注 ゼットンの海外飲食事業は連結上、国内飲食に含んでおります。

同四半期四半期実績 (2019年2月期1Q) 対比

【国内・海外飲食】	
(売上高)	国内の主たる要因として、既存店昨対比98.6%の結果となったものの、前期第2四半期より連結対象となった(株)ゼットン、(株)商業藝術の第一四半期分の寄与による増加及び前期三四半期より事業を開始したウェディング事業の第1四半期分の寄与による増加となる。海外においては、売上高減少傾向
(営業利益)	国内の主たる要因として既存店昨対比減少98.6%、前期同事業対比(株)ゼットン、(株)商業藝術を除き、ブライダル事業を除く)の売上原価率が1.4point増加したことによる売上総利益の減少。また、前期第三四半期に開業したウェディング事業が計画とおりではあるものの、▲69百万円の着地となったことによるものであります。また、海外においては、売上高の減少による営業利益の減少であります。
【アミューズメント】	
(売上高)	主たる要因として、既存店昨対104.9%と好調に推移したことに加えて、前期2店舗の新規出店によるものであります。
(営業利益)	既存事業は順調に推移しているが、前期第三四半期に開業したカプセルホテル事業の営業利益率が既存事業と比較して低いことによる営業利益率低減

# 主要係数



(単位：百万円)

	通期	
	2017年	2018年
	2月期 (通期)	2月期 (通期)
売上原価率	21.0%	23.4%
販管費率	73.6%	71.7%
営業利益率	5.4%	4.9%
(ご参考) のれん償却除前営業利益率	5.7%	5.2%
経常利益率	4.7%	4.9%
EBITDA	2,766	3,629

	通期	
	2017年	2018年
	2月期 (通期)	2月期 (通期)
有利子負債額	9,679	14,255
ネットD/Eレシオ (倍)	1.2	1.7
自己資本比率	20.8%	20.3%

四半期会計期間					2019年 2月期
2018年2月期				1Q	
1Q	2Q	3Q	4Q		
	20.7%	23.9%	24.3%	24.0%	<b>24.4%</b>
	70.3%	69.2%	74.4%	72.4%	<b>70.9%</b>
	9.0%	6.9%	1.3%	3.6%	<b>4.7%</b>
	9.1%	7.3%	1.7%	4.0%	<b>5.1%</b>
	8.9%	7.0%	1.5%	3.5%	<b>4.4%</b>
	938	1,264	565	862	<b>961</b>

四半期累計期間					2019年 2月期
2018年2月期				1Q	
1Q	2Q	3Q	4Q		
	9,243	14,737	13,694	14,255	<b>14,678</b>
	1.1	1.7	1.8	1.7	<b>1.6</b>
	22.8%	32.1%	18.7%	20.8%	<b>19.9%</b>

(単位：百万円)

【売上原価率】 2017年の酒税法改正の影響を受けたものの全社ベースで、前期同事業対比（㈱ゼットン、㈱商業藝術、ウェディング事業を除く）の売上原価率が0.8point増加に留まっております。また、原価率上昇の主な要因は、前期第2四半期に連結対象となった㈱ゼットン、商業藝術並びに前期第3四半期に新規事業として開業したウェディング事業の売上原価率が合算ベースで30.4%と既存事業と比較して高いことから、売上原価率が上昇しております。

【経常利益率】 前期に持分法適用関連会社となった㈱エスエルディーの持分法投資損失▲75百万円を計上したことが主な要因であります。

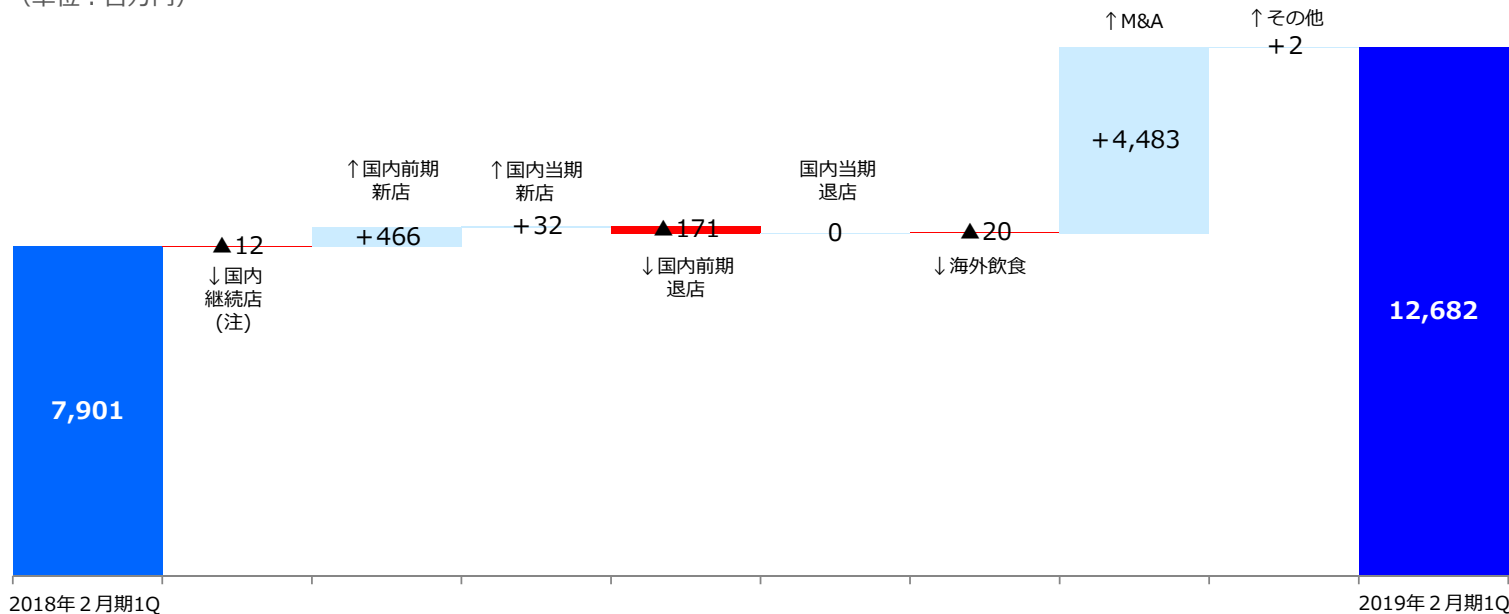
【有利子負債額】 前期第2四半期以降に実行した㈱商業藝術、㈱エスエルディーのM&A資金や、ウェディング事業開業に係る資金の銀行借入による増加が主な要因であります。

# 売上高対前年増減要因



前期第2四半期より連結対象となった2社の売上高が加算したことが主な要因であります。

(単位：百万円)



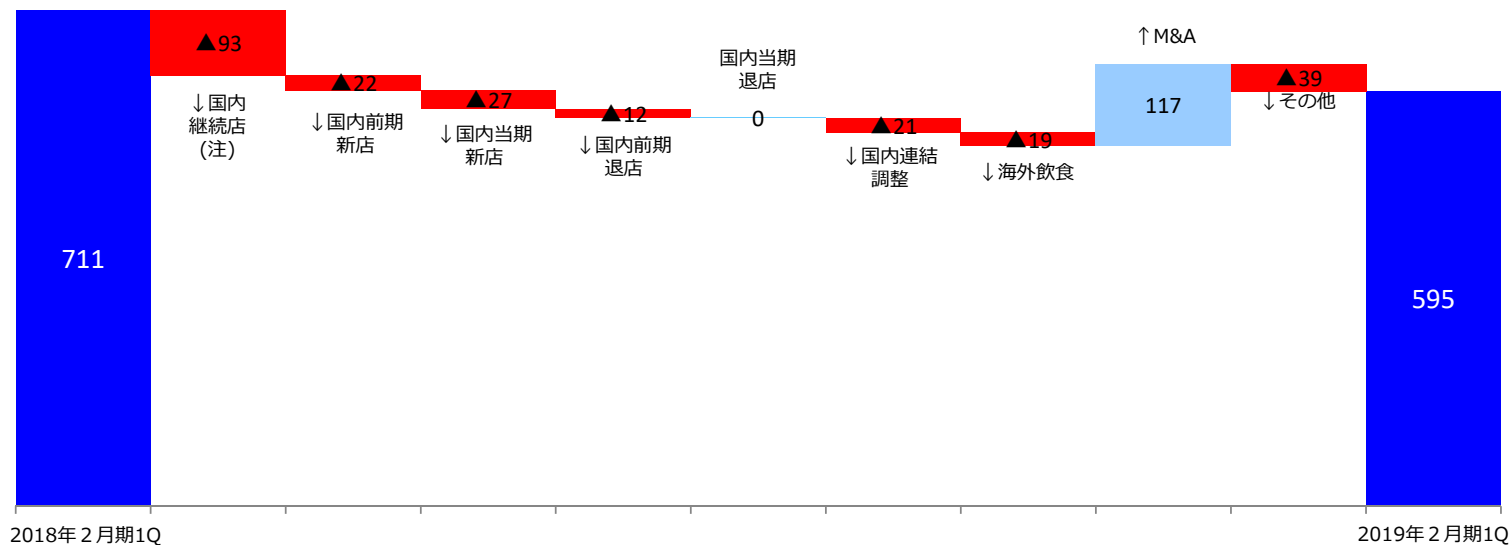
※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

## 営業利益対前年増減要因



前期第2四半期に連結化した2社による増益があったものの、国内飲食既存店昨対比98.6%による売上総利益減、前期開業した2事業（ウェディング、カプセルホテル）の立ち上げ期による減収が主な要因であります。

(単位：百万円)



※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）



# 連結B/S



(単位：千円)

	2018年 2月期	2019年 2月期1Q	前期比増減		2018年 2月期	2019年 2月期1Q	前期比増減
流動資産	7,714,149	<b>9,135,913</b>	1,421,763	有利子負債	14,255,670	<b>14,678,062</b>	422,392
現金及び預金	4,737,014	<b>5,490,559</b>	753,545	その他流動負債	7,416,161	<b>7,643,845</b>	227,683
その他流動資産	2,977,135	<b>3,645,353</b>	668,218	負債合計	21,671,832	<b>22,321,908</b>	650,075
固定資産	19,645,481	<b>18,990,496</b>	-654,985				
有形固定資産	7,605,796	<b>7,572,371</b>	-33,424	株主資本	4,683,352	<b>4,895,809</b>	212,456
無形固定資産	3,239,538	<b>3,211,981</b>	-27,556	利益剰余金	3,367,423	<b>3,579,880</b>	212,456
のれん	3,120,039	<b>3,097,686</b>	-22,352	その他の包括利益累計額	925,404	<b>765,868</b>	-159,535
投資その他資産	8,800,146	<b>8,206,143</b>	-594,003	非支配株主持分	372,459	<b>419,939</b>	47,480
繰延資産	293,416	<b>277,115</b>	-16,300	純資産合計	5,981,215	<b>6,081,617</b>	100,401
資産合計	27,653,048	<b>28,403,525</b>	750,477	負債・純資産合計	27,653,048	<b>28,403,525</b>	750,477

## 【増減主要要因】

(資産) 主な増減要因として、繰延税金資産、投資有価証券がそれぞれ277,640千円、231,563千円減少したものの、現金及び預金、売掛金、預け金、未収入金がそれぞれ753,545千円、192,621千円、168,541千円、120,012千円増加したこと等によるものであります。

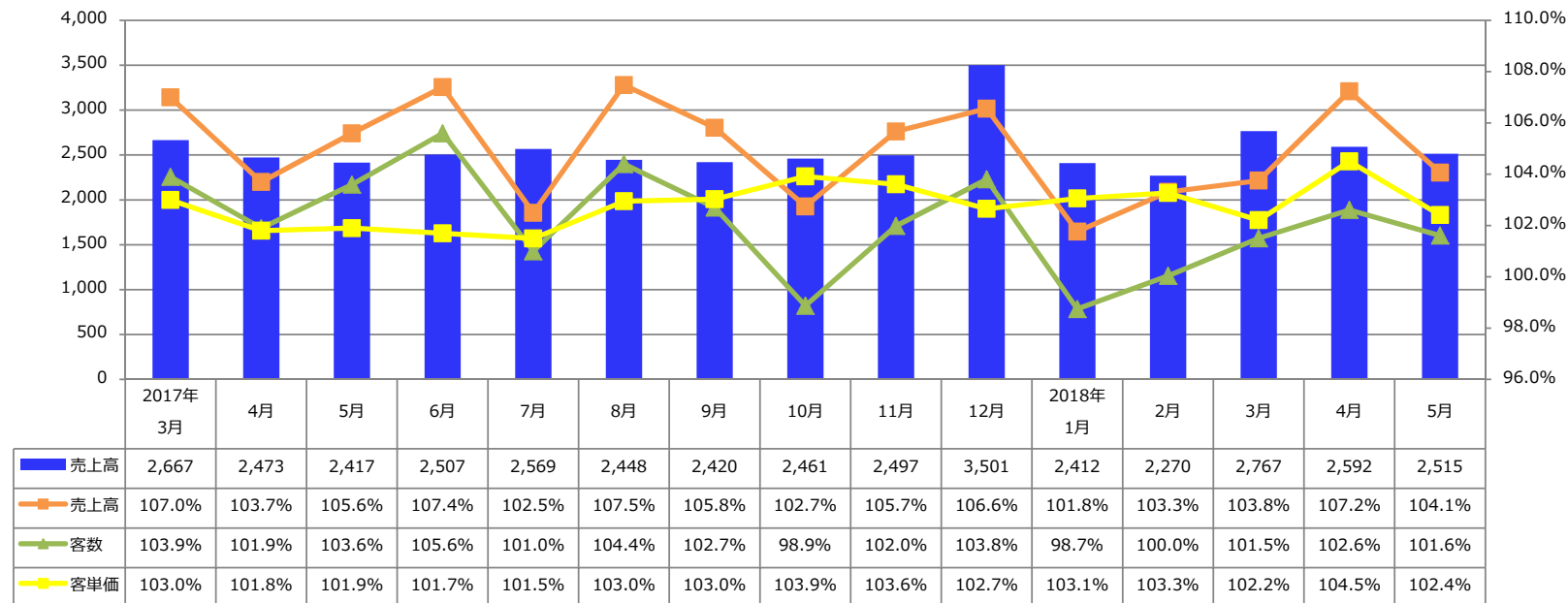
(負債) 主な要因といたしましては、繰延税金負債、未払法人税等がそれぞれ213,114千円、164,914千円減少したものの、長期借入金、買掛金、未払費用がそれぞれ599,784千円、267,583千円、161,188千円増加したこと等によるものであります。

# 国内全店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2018年2月期				2019年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	105.5%	105.7%	104.7%	104.2%	104.2%
客数	103.1%	103.6%	101.2%	101.1%	101.9%
客単価	102.3%	102.0%	103.5%	103.1%	102.3%

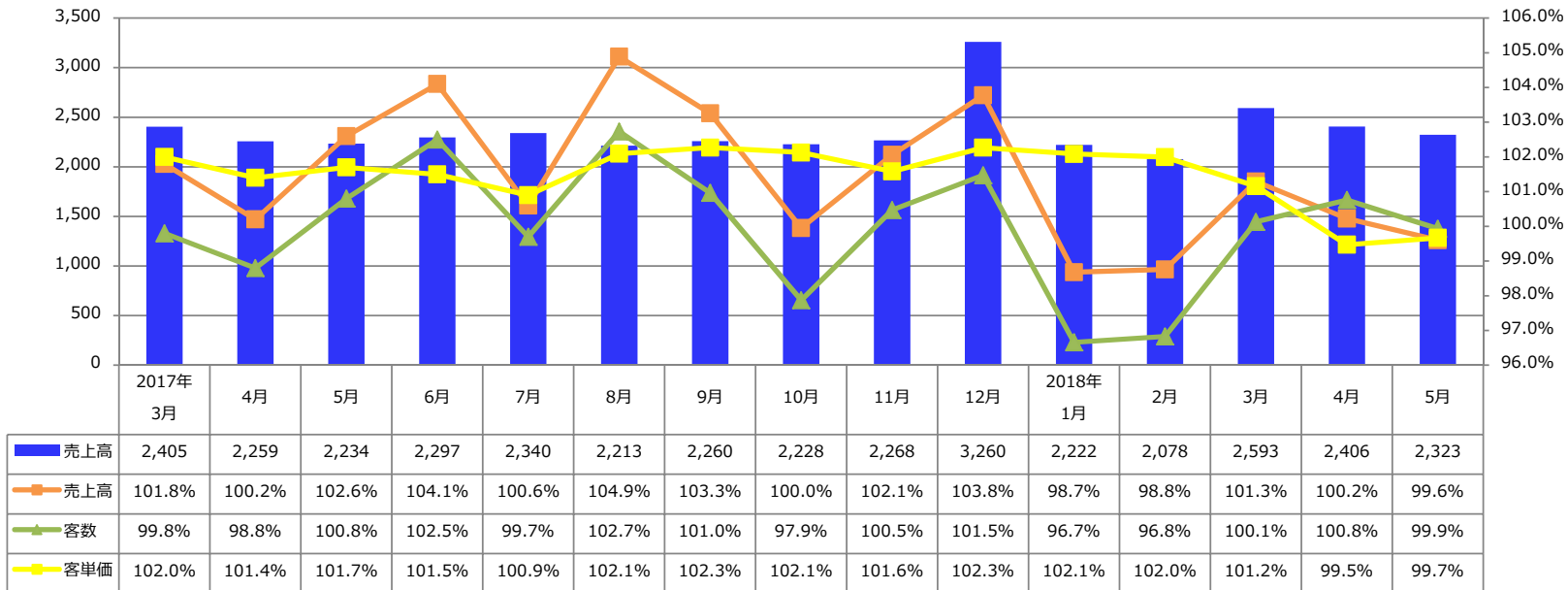
※注 全店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった(株)ゼットン及び(株)商業藝術の昨対比は含めておりません。  
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 国内既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2018年2月期				2019年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	101.5%	103.1%	101.7%	100.8%	100.4%
客数	99.8%	101.6%	99.8%	98.6%	100.3%
客単価	101.7%	101.5%	102.0%	102.3%	100.1%

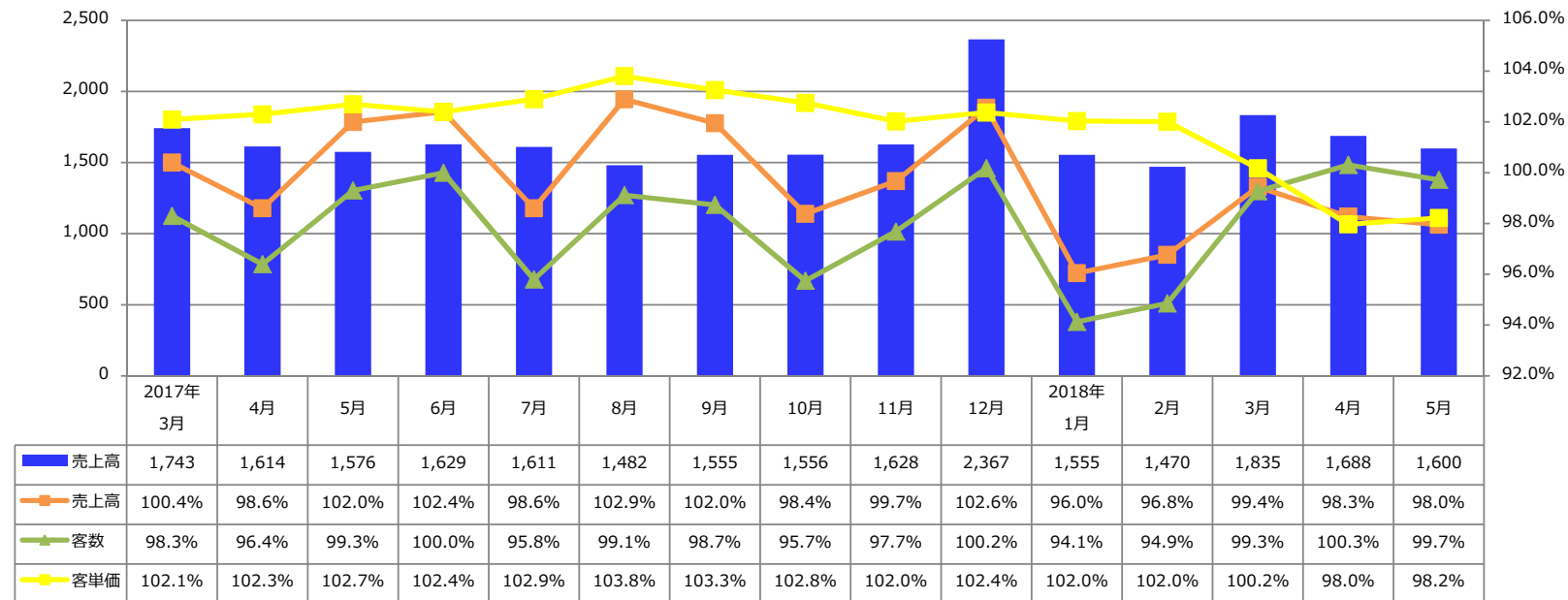
※注 全店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。  
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 国内飲食既存店

## 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2018年2月期				2019年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	100.3%	101.2%	100.0%	99.0%	98.6%
客数	98.0%	98.2%	97.4%	96.8%	99.8%
客単価	102.4%	103.0%	102.7%	102.3%	98.8%

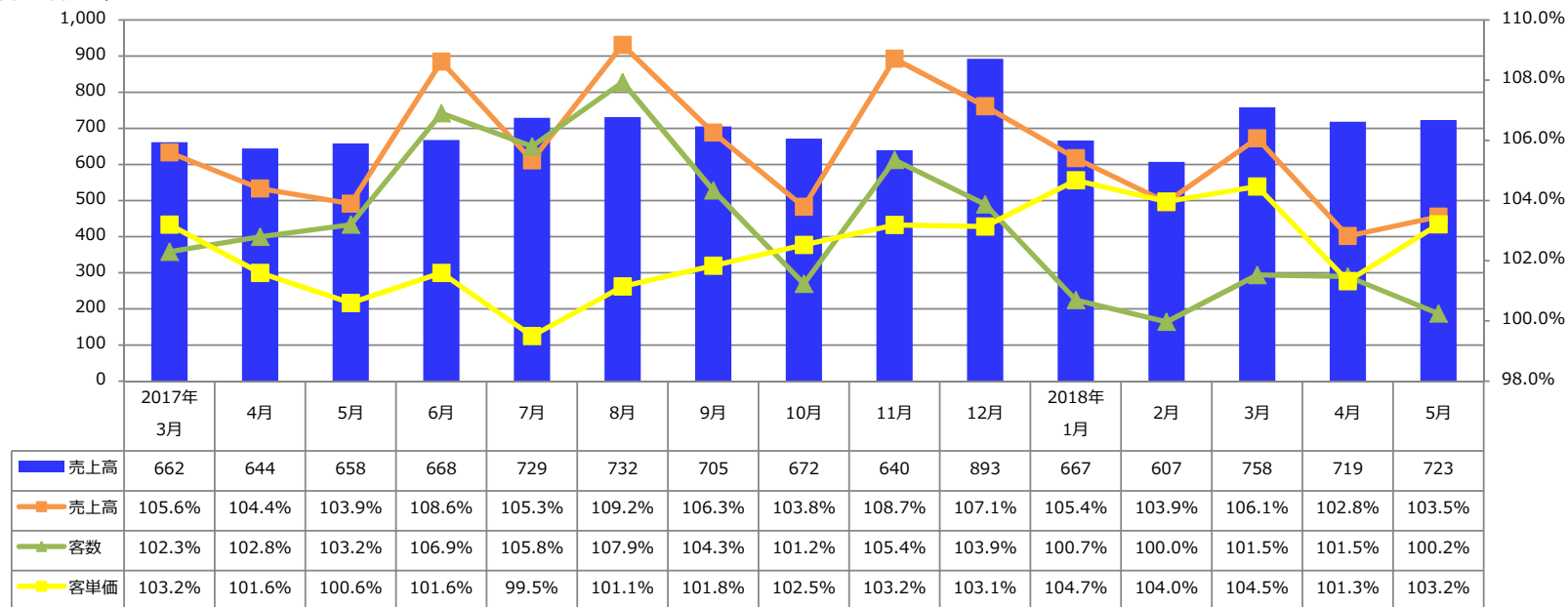
※注 全店同月比には2018年2月期第2四半期会計期間より連結子会社となった㈱ゼットン及び㈱商業藝術の昨対比は含めておりません。  
Copyright © DD Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 国内アミューズメント既存店

売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



	2018年2月期				2019年2月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	104.6%	107.7%	106.2%	105.7%	104.9%
客数	102.8%	106.9%	103.6%	101.7%	101.1%
客単価	101.8%	100.7%	102.5%	104.0%	103.8%

## 連結業績予想（中間期及び通期）



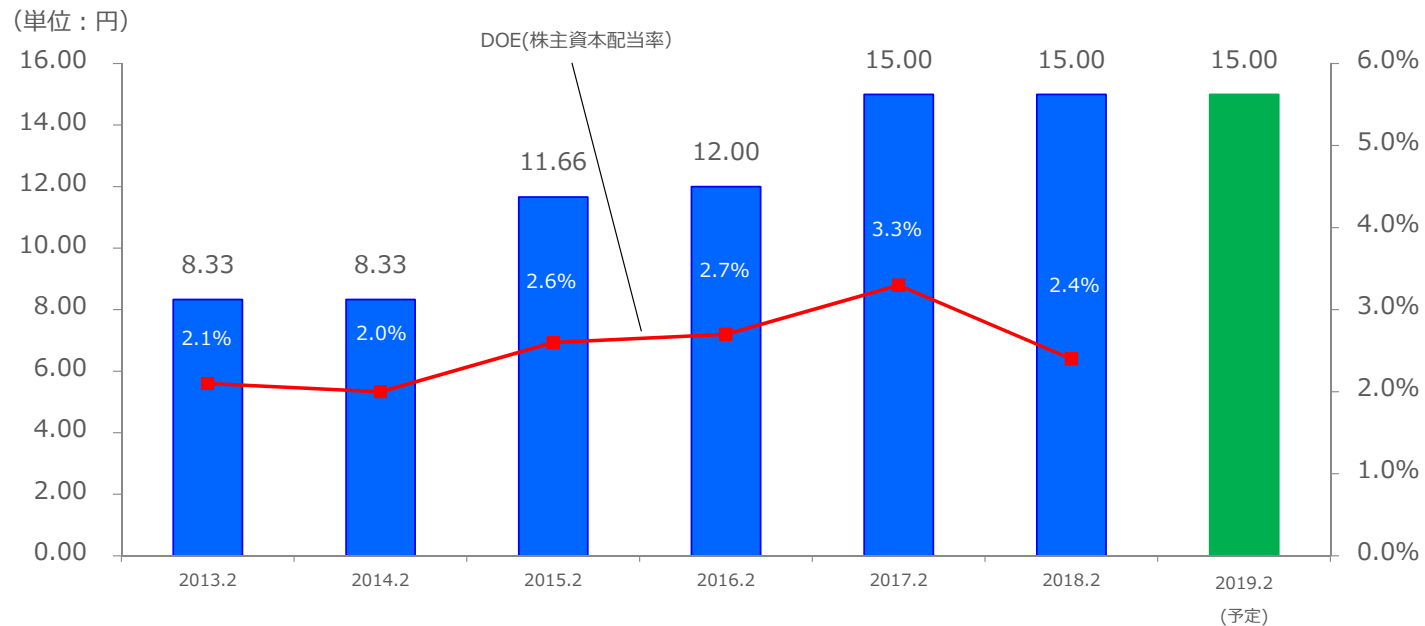
2018年7月12日に第2四半期累計連結業績予想を上方修正を公表。通期は据え置き。

(単位：百万円)

2019年2月期第2四半期累計連結業績予想					
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
前回発表予想 (A)	25,855	1,247	1,286	770	100.72
今回修正予想 (B)	<b>25,855</b>	<b>1,350</b>	<b>1,350</b>	<b>1,090</b>	<b>142.45</b>
増減額 (B-A)	-	<b>103</b>	<b>64</b>	<b>320</b>	
増減率 (%)	-	<b>8.2</b>	<b>5.0</b>	<b>41.6</b>	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年2月期第2四半期)	20,851	1,607	1,612	1,090	143.09

※注 修正理由は2018年7月12日に公表させていただいた「平成31年2月期第2四半期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2019年2月期累計連結業績予想					
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円、銭)
前回発表予想 (A)	51,078	2,529	2,597	1,402	183.30
今回修正予想 (B)	51,078	2,529	2,597	1,402	183.30
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(ご参考) 前期通期実績 (2018年2月期通期)	45,077	2,204	2,223	1,010	132.43



※注1 2015年3月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、分割実施を考慮して計算しております。

※注2 DOE (株主資本配当率) は、年間配当額÷自己資本にて算出



## 会社概要及び事業概況

---

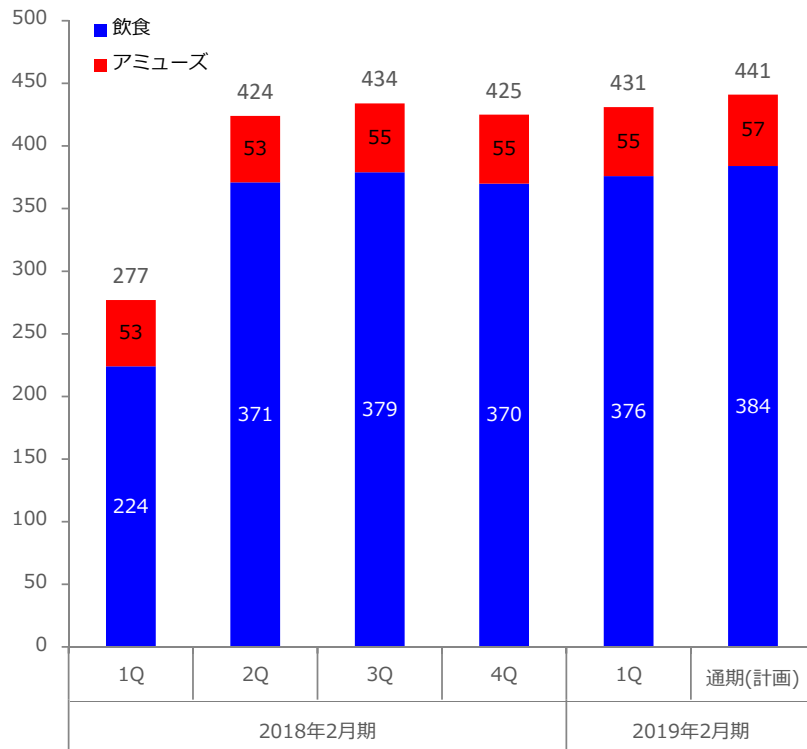


## 会社概要 (2018年5月末日現在)



- ◆ 商号 株式会社DDホールディングス (旧商号：株式会社ダイヤモンドダイニング)
- ◆ 上場市場 東京証券取引所 市場第一部
- ◆ 証券コード 3073
- ◆ 本社所在地 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル18F
- ◆ 設立 1996年3月 (平成8年)
- ◆ 資本金 6億9,938万円
- ◆ 発行済株式数 7,821,360株 (注) 2018年2月末日現在
- ◆ 決算 2月末日
- ◆ 代表者名 松村 厚久
- ◆ 従業員数 連結8,393名 (正社員1,798名・パートナー (平均) 6,595名)
- ◆ グループ会社
  - ・ 連結子会社数 : 16社
  - ・ 非連結子会社数 : 1社
  - ・ 持分法適用関連会社数 : 1社
- ◆ 監査法人 太陽有限責任監査法人
- ◆ 事業内容 飲食事業 (居酒屋・レストラン等)、海外飲食事業  
アミューズメント事業 (ビリヤード・ダーツ・複合カフェ等)、ウェディング事業、カプセルホテル事業

# 店舗数推移



2019年2月期においては、国内14店舗、海外2店舗の新規出店合計16店舗の計画。1Qについては6店舗の純増

## 【店舗数推移】

	1Q	2Q	中間期合計	3Q	4Q	通期合計
①新規出店	8		8			8
②業態変更	5		5			5
③退店	2		2			2
④純増店舗数 (①-③)	6		6			6

## 【新規出店ブランド】

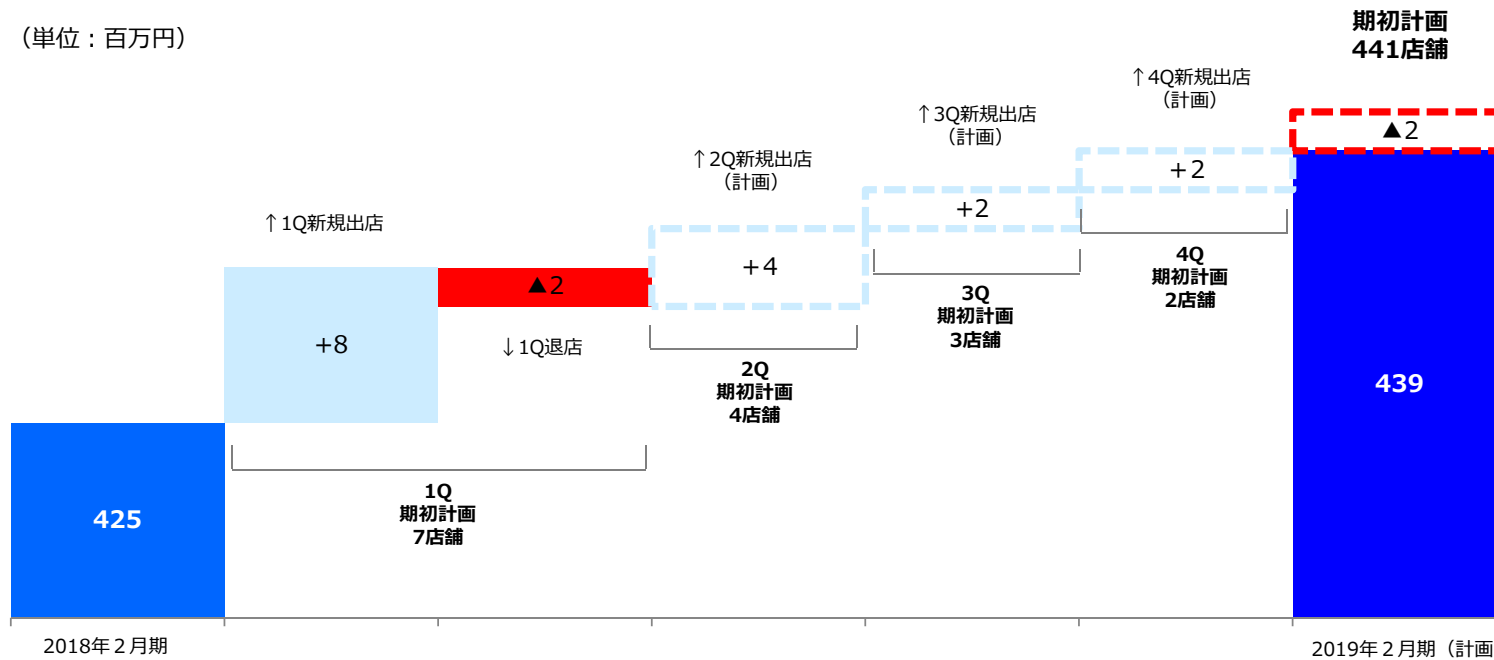


※注 上記直営店舗の他、LC7店舗、FC8店舗を運営しております。

# 計画店舗数推移

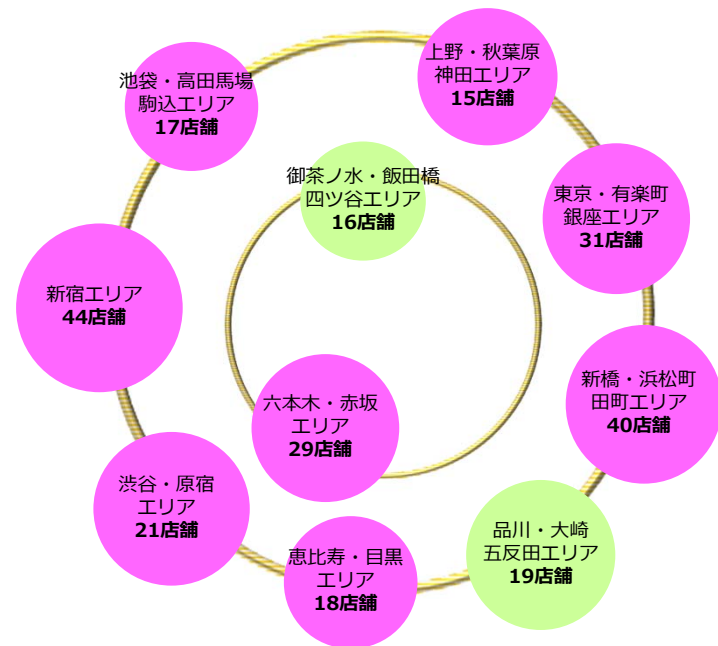
1Qは定期建物賃貸借契約の満了による退店が2店舗あったものの、ほぼ出店計画通りに推移

(単位：百万円)



# 山手線沿線出店状況 -ドミナント戦略-

山手線沿線出店状況(2018年5月末現在)



## 山手線沿線内出店数

合計250店舗

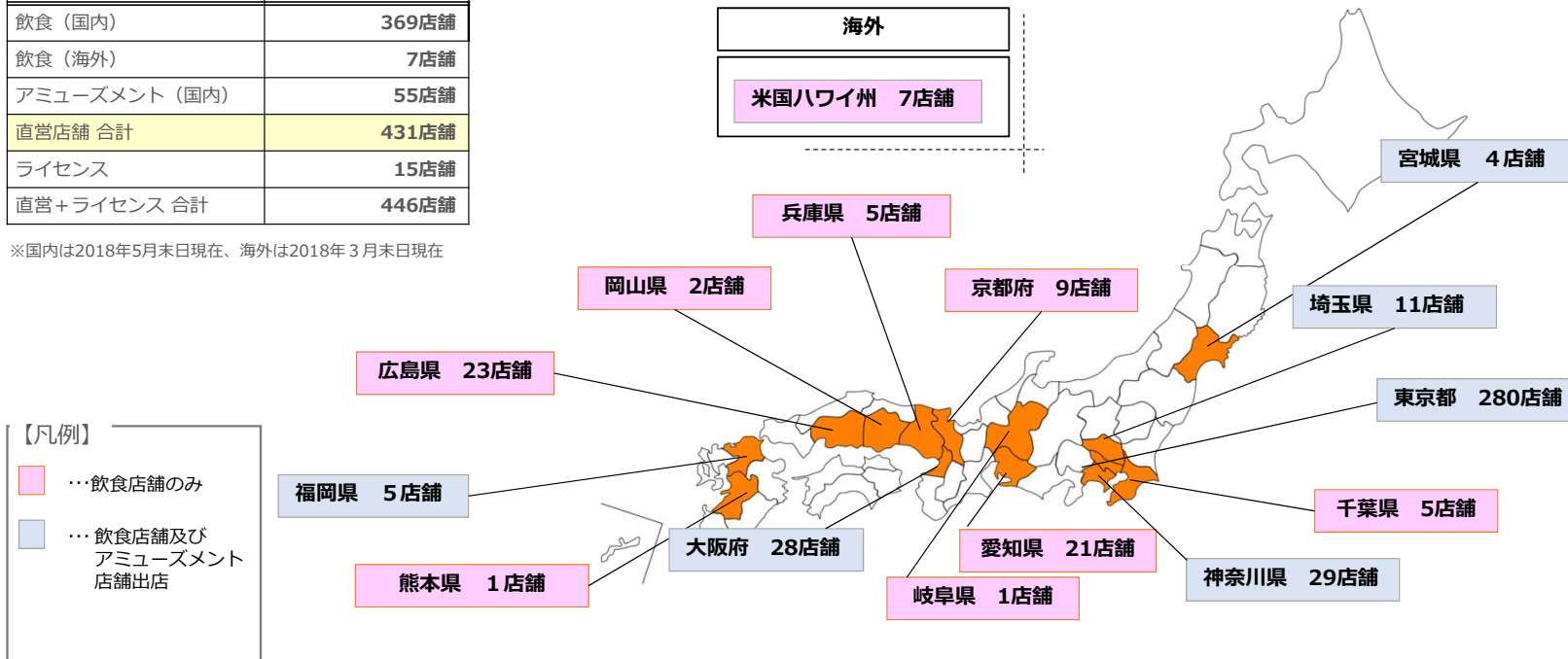
【凡例】 ● …飲食店舗とアミューズメント店舗がドミナント ● …飲食店舗のみ

# 国内・外出店エリア

## ■ 店舗数※

属性	店舗数
飲食（国内）	369店舗
飲食（海外）	7店舗
アミューズメント（国内）	55店舗
直営店舗 合計	431店舗
ライセンス	15店舗
直営+ライセンス 合計	446店舗

※国内は2018年5月末日現在、海外は2018年3月末日現在



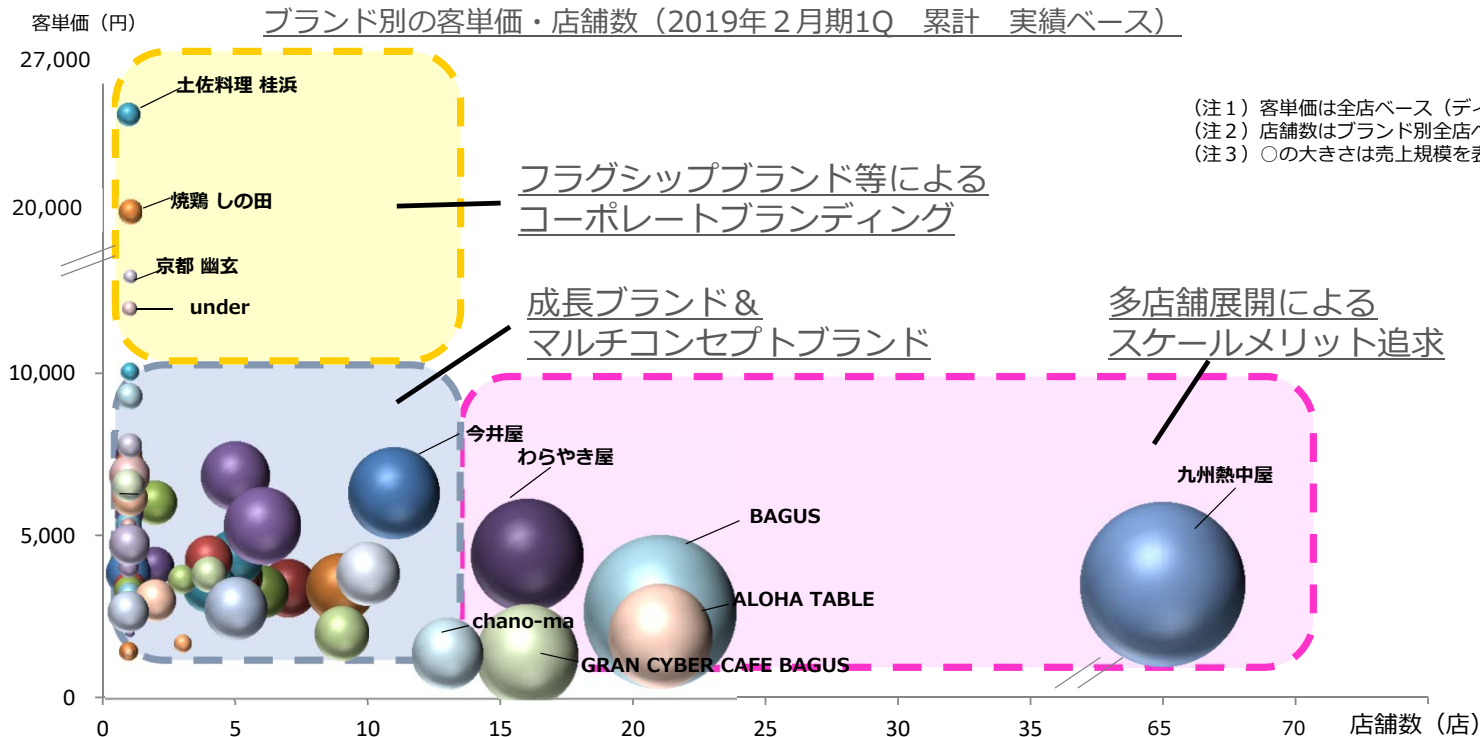
## (ご参考) カテゴリー別売上高比率



カテゴリー			構成比 (2018年2月期1Q)	構成比 (2019年2月期1Q)	展開方針
飲食事業	国内	飲食事業	77.3%	69.0%	首都圏を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。今期においては従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。期初計画上、12店舗新規出店を計画。
		ビアガーデン	-	1.5%	(株)ゼットンにて5月末時点で10店舗運営。天候に左右されやすいため、今後も雨天に強く安定的な利益貢献ができる店舗運営へ取り組む方針。新規出店についても高い収益性が見込まれる立地のみを厳選。期初計画上、1店舗新規出店を計画。
		ウェディング	-	6.8%	グループ全体において5月末時点で6施設10店舗を運営(ウェディング施設に付随するレストラン店舗などを含む)。前期においては(株)The Sailingにて『京都祝言』を開業。期初計画上、今期新規出店計画はなし。
	海外	海外飲食	3.4%	4.6%	全店舗ハワイにて展開。2018年5月に和食&レストランバー「ZIGU」を出店。今期は全店黒字化に向けて、コラボに取り組むなど営業活動の見直し・ブラッシュアップを行う方針。「ZIGU」を含めて期初計画上、今期2店舗新規出店を計画。
アミューズメント事業			19.3%	18.1%	ビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業、「KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU」の運営に加え、昨年よりカプセルホテル事業に参入。厳選した立地にのみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。期初計画上、2店舗新規出店を計画。

# (ご参考) ブランドポートフォリオ

ブランドポートフォリオを明確化することにより、あらゆるリスクを回避



本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## お問合せ先

グループ経営企画本部 IR部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : [ir@dd-holdings.com](mailto:ir@dd-holdings.com)





**DD HOLDINGS**